

2024年7月11日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、ESG 投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也^{こうの としや}、以下 東陽テクニカ)は、このたび、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に昨年に引き続き選定されたことをお知らせします。

東陽テクニカは、企業理念の一つに『“はかる”技術で未来を創る』を掲げており、事業活動を通じて、豊かな社会、人と地球に優しい環境創りに貢献するため、全社一丸となってこの企業理念を実践しています。当社事業そのものがサステナブルな未来創りに貢献するものであり、ESGを中心とした企業価値の持続的な向上にも取り組んでおります。今後も持続可能な社会の実現と企業の持続的な成長に向け、事業活動を通じた環境負荷低減のための取り組みを推進するとともに、積極的な情報開示に取り組んでまいります。

<FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexについて>

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア[※]により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

・「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

・東陽テクニカ サステナビリティサイト

<https://www.toyo.co.jp/sustainability/>

※TPI 経営品質スコア：2017年に設立されたイニシアチブ「Transition Pathway Initiative (TPI)」が企業の温室効果ガス排出量および脱炭素への移行に関するリスクと機会の管理の質を評価したものの。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、クリーンエネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。高速通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新技術の提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。計測ソリューションを通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティンググループ

TEL : 03-3279-0771(代表) / E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。